

平成28年度 事業報告

平成28年度においては、事業計画に位置づけた事業について実施が見送られたものもあったが、公益目的支出計画に位置付けている協会セミナー及び施設見学会事業をはじめ、品質確保のための各種の講習会事業等、協会の定例的活動については、会員の協力を得て円滑に実施するとともに、調査研究活動については、定期的な委員会等の開催により活動を実施し、今後の研究成果が期待されている。

また、膜構造用フィルムの告示化について国土交通省に協力し、近々、改正告示が公布される予定である。

一方、国土交通大臣から指定を受けて実施している行政代行業としての材料品質性能評価事業や型式適合認定事業は、堅調に推移しているところである。

1 品質及び技術水準の確保向上（技術向上事業）

(1) 「膜構造用フィルム：ETFE」の円滑な導入に必要な、構造方法に関する技術的基準を位置付けるための関係告示（告示第666号、第667号、第1446号）の国土交通省による改正作業に協力し、近々、改正告示が公布される予定である。

(2) 「定期点検者講習」を7月8日に実施し、16名が講習後の考査に臨み、15名を合格者として登録し、更にホームページに掲載した。

（現在登録者数 114名）

(3) 「膜施工管理技術者講習」を10月6日及び7日に実施し、S種8名及びM種6名が講習後の考査に臨み、S種6名、M種3名を合格者として登録し、更にホームページに掲載した。

（現在登録者数 S種54名、M種15名、R種1名、計70名）

2 技術発展のための調査研究の推進（調査研究事業）

設計実務への反映を目指した「膜構造建築物に相応しい風力係数」を提案するため、平成27年度に引き続き5回の風力係数委員会を開催し、調査研究を実施した。今後、「膜構造建築物における風荷重及び風力係数算定マニュアル」として、研究成果をとりまとめる予定としている。

3 普及情報事業の推進（技術情報事業）

(1) 記念講演会を、6月3日通常総会後に開催した。

『恒久膜構造の黎明 — 二つの空気膜構造建築 —』

講師：丹野吉雄氏 元・(株)竹中工務店 設計本部 プリンシパルエンジニア

(2) 「膜協セミナー・夢空間2016」を、9月23日に開催した。

『FAILURE (That word is singular, not plural.)』

講師：Ronald Shaeffer氏 Florida A&M University 名誉教授

『LIGHTWEIGHT novel structural skins: design, analysis and research』

講師：Marijke Mollaert氏 Vrije Universiteit Brussel 教授

- (3) 膜構造建築物等の普及を図るため、設計者・公共建築担当者等を対象として、(一社)日本建築士事務所協会連合会との共催により、膜構造による魅力ある空間創造「見学会&講習会」を、中京地区において3月9日に開催した。
講習会講師：河端 昌也氏 横浜国立大学大学院准教授 他
見学施設：愛知県児童総合センター、イオンモール長久手、
(株)相合家具製作所 Desigh Labo、木曾三川公園・輪中ドーム
- (4) 会員向けの施設見学会を、東京都江東区、中央区において3月27日に開催した。
見学施設：ゆりかもめ「市場前」駅・シェルター、新豊洲ランニングスタジアム、
中央区立晴海中学校・体育館、東京駅八重洲口・グランルーフ
- (5) 膜構造建築物及び膜天井の施工実績、膜材料の出荷実績に関する『膜構造事業実績』の定期アンケート調査を実施し、会員の事業戦略の参考に供した。
- (6) 協会ホームページの定期的なアップデートを行うとともに、総会後の記念講演会及び『膜協セミナー・夢空間2016』の講演資料、『膜構造事業実績』を「会員ページ」に掲載した。

4 性能評価事業等の実施（行政代行業ほか）

- (1) 指定性能評価機関として、9件の膜材料について性能評価を実施した。
- (2) 指定認定機関として、53件の膜構造の建築物やテント倉庫建築物の型式適合認定を実施した。
- (3) 膜構造建築物に係る技術審査を1件実施した。

5 会議の開催状況

(1) 総会

平成28年度通常総会を6月3日に開催し、平成27年度事業報告及び決算を承認するとともに、定款の改正、会員規則の改正及び役員の変更を行った。

また、平成28年度事業計画及び収支予算、平成27年度公益目的支出計画実施報告書を了承した。

(2) 理事会

① 第1回通常理事会（5月11日）

平成27年度事業報告及び決算、定款の改正、会員規則の改正並びに役員の変更の議案について、通常総会への提案に向けての審議を行うとともに、平成27年度公益目的支出計画実施報告書が承認され、総会に付議する事項を決議した。

② 第2回臨時理事会（6月3日）

通常総会における役員の変任に伴い、会長、副会長及び専務理事の選定が行われた。

③ 第3回臨時理事会（11月30日）

第3種正会員における会費の減免を行う会員の決定、協会への入会の可否の決定等の審議を行うとともに、事業実施状況の報告等を行った。

④ 第4回通常理事会（平成29年3月28日）

平成29年度事業計画及び収支予算、会員規則の改正等の審議を行うとともに、事業実施状況の報告等を行った。

- (3) 企画運営委員会
3回開催し、理事会への付託案件について検討を行うとともに、協会の運営、事業活動における課題等について討議を行った。
- (4) 普及情報委員会
1回開催し、膜構造普及のための「見学会&講習会」などの実施に関する検討を行うとともに、会員が求める情報等、今後の普及情報活動について討議を行った。
- (5) 維持保全専門委員会
1回開催し、定期点検報告書4件の審査を行った。
- (6) 性能評価委員会
「建築材料品質性能評価委員会」を5回開催し、膜材料9件についての性能評価を行った。(再掲)
- (7) 型式適合認定委員会
12回開催し、53件についての審査を行った。(再掲)
- (8) 膜構造技術審査委員会
1回開催し、1件についての審査を行った。(再掲)

6 会員の動向

	平成 28 年度末	平成 27 年度末	
第 1 種正会員	18 社	18 社	
第 2 種正会員	17 社	17 社	
第 3 種正会員	94 名	95 名	(1 会員減)
第 4 種正会員	6 社	6 社	
賛助会員	1 社		(1 会員増)
合 計	136 会員	136 会員	(1 会員減・1 会員増)

附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はないので、附属明細書は作成しない。